

熊本県

団体部門

かぶしきかいしゃ
株式会社サン・ファーム

From an egg make you happy(一つのたまごから広がる君(黄身)の幸せ)



株式会社サン・ファーム スタッフの皆さん



「夢食堂INどんぐりの森」イベントの様子

取組概要

- 昭和35年の設立以来、素材にこだわった自家配合飼料を用いた採卵養鶏の生産販売を継続。
- 昭和50年代より直売を開始し、平成19年には直売交流施設「ひなたまっこ」を建設。自社の卵や地域の食材を生かしたスイーツの開発、製造販売を実施。
- 令和4年4月に「夢食堂INどんぐりの森」をオープンし、子供たちが楽しめるイベントを開催しながら、無料で食事や弁当を提供。

活動成果

- 地元農家の作った飼料米と輸入に頼らない国産小実トウモロコシを自家配合した飼料を用いる先進的な取組を実施。
- 農家の高齢化を受け、発酵鶏糞の散布代行を開始。国産小実トウモロコシの自社栽培をスタートし、地元農家の土地や開拓した荒廃農地へ作付け。
- 子供たちが、地元で育った餌を食べた鶏から生まれた卵を食することで、地元への興味関心や愛着を育み、地産地消の大切さを伝えている。

株式会社サン・ファーム

熊本県熊本市南区城南町今吉野1000-1 Tel : 0964-28-3300 Fax : 0964-28-6606

天明環境保全隊

守り伝えよう環境と文化～地域、学校、福祉の連携～



ホテル等のビオトープ



炭焼きした竹炭を袋詰め後、水路に投入



銭じゃこ太鼓・花棒踊りの披露



熊本城マラソンコース沿いに案山子を展示

取組概要

- 生ゴミ・刈草で堆肥づくり、毎年150haのレンゲによる景観形成、水源涵養林の育成、ビオトープの設置(8カ所)、ホテルの復活等の保全活動を実施。
- 各集落でどんどや、しめ縄づくり、校区で雨乞い太鼓の引き廻し・花棒踊り、案山子等を復活。
- 小中学校(7校)で地域の歴史・風土の出前講座、田んぼの学校の開催。下草刈り、生き物調査等を実施。

活動成果

- 天明のNPO法人から呼びかけた緑川の清掃は、今では流域住民2万人が参加する一大イベントに発展。
- 様々な活動を継続することで、地域(人)のネットワークも構築、住民の理解も進み、耕作放棄地もなく、農業後継者も多く育っている。
- 集落・校区単位の様々な組織が参加するワークショップを年2回開催することで、担い手農家への農地の集積が進んだ。

天明環境保全隊

熊本県熊本市南区奥古閑町1863-5

Tel :096-223-2226 Fax :096-223-5606

いっぽんしゃだんほうじん ふくしかい
一般社団法人 さくら福祉会

ハンデをパワーに！福祉が担う農業と食文化の継承



取り上げられた新聞記事



収穫風景および収穫祭

取組概要

- 障がい者就労支援として農家のサポート、農業技術者の人材育成を実施。また、耕作放棄地再生、地域の伝統食文化を継承。
- 自社農園で生産した作物等を水俣市内の道の駅ほか、ECサイト、東京の熊本県物産アンテナショップ等で販売。

活動成果

- 農家の人材不足や後継者不足解消、環境保全等の一助になっている。また、「寒漬け」は水俣市のふるさと納税返礼品としても採用され、農作物や加工品を用いたPRにて、地域活性化に貢献。
- 障がい者だけでなく、利用者にとっても自然とのふれあいによる癒し、雇用拡大・技術習得等の効果が発揮。
- 将来を担う子どもへの食育として、伝統食文化継承の一助となっている。

団体部門

しゃかいふくしほうじん おぐにまち しゃかいふくしきょうぎかい

だいずこうぼう おぐに

社会福祉法人小国町社会福祉協議会 大豆工房小国のゆめ

小国のゆめ、それは私たちのゆめ



大豆「すずかれん」の加工品



農福連携レストラン 天空の豆畑

取組概要

- 阿蘇群高森町の在来種「みさを大豆」を原種とする「すずかれん」を栽培。また、小国町の在来種「おぐに黒大豆」の保存と商品化を行う。
- 平飼いによる養鶏でストレスが少ない健康的な卵を採卵、販売。その鶏糞等は耕作放棄地に散布して大豆を栽培することで、循環型農業を確立。
- 6次産業化による大豆製品の加工販売や農福連携レストラン「天空の豆畑」をオープンさせる。

活動成果

- 活用する耕作放棄地は、事業開始時H28約1haから、R4約10haと、10倍に増加。
- 養鶏数は、導入当初の80羽から現在400羽と5倍に増加。
- 収入は事業開始H28からR3までで4倍となり、レストランの利用者数もH30からR4までで1.5倍に増加。また、平均工賃もH28からR3までで2.5倍となっている。

社会福祉法人 小国町社会福祉協議会 大豆工房小国のゆめ

熊本県阿蘇郡小国町宮原1530番地2 TEL:0967-46-5575 FAX:0967-46-5615

蘇陽農場

日本の食を農×福×環境保全型飼料で守る！



蘇陽農場産の卵



ひとりひとり皆が欠かせない人財

取組概要

- 熊本・大分地震からの復興と持続可能なふるさとづくりに、地域で力を合わせて取り組むために、H28年10月に、蘇陽農場を中心とした「熊本県おいしいたまご振興会」を設立。
- 『ユニバーサル農業(多様な雇用)×有機堆肥×国産自給飼料で育む農業→持続可能な農山漁村づくり』をスローガンに、「持続可能なはたらく職場づくりの実現」「みどりの食料システム戦略」実現への寄与」「国産自給飼料」の積極活用」に取り組んでいる。

活動成果

- 勤続23年の女性が農場長として活躍。後輩女性も柔軟な感性を活かして障がい者就労支援責任者として活躍中。現在9名の障がい者を雇用。
- 環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動を積極推進中。
- 地域関係機関指導の下、自社鶏糞を中心に放置竹林資材等を活用した有機堆肥を地域へ提供。

蘇陽農場

熊本県上益城郡山都町大野115-1 Tel : 090-1347-3976 Fax : 096-783-0174

NPO法人かちゃリンクやまえ

「交流」こそが山村の未来を支え、力強い復興支援となる



山江村の農業・栗の未来を考えるフォーラム



こんにゃくづくり体験



山野草の採取・食べる会

取組概要

- 「交流」が災害からの復興の下支えとなると考え、R3年9月より合計10回の交流事業（農業フォーラム他）を実施。
- 毎月「かちゃり（助け合い）の日」を設定し、勉強会、環境活動などの内容の事業を累計140回実施。
- 都市と農村の交流拠点として発足した「時代（とき）の駅むらやくば」では、地産地消にこだわった農村レストランを運営。

活動成果

- 「かちゃりの日」では、山江村特産の栗の皮むきイベントや、里の歴史遺産、伝助さんの墓掃除等を実施し、地域住民の絆を大切にするツールとなっている。
- 農村レストラン「やまえのまんま」の平成20年度からの利用者総数は142千人。
- 令和元年度には九州農政局主催、地産地消優良団体を受賞。
- 令和3年9月から始めた「復興むらづくり交流」は、被災した地域住民の心のケアに一定の役割を果たすなど、大きな成果となりつつある。

団体部門

しゃかいふくしほうじん とうようかい

社会福祉法人東陽会 りゅうきんか

地域共生社会を目指して～農×福×リハ～

定植



人工交配



収穫



試食



取組概要

- 農業と福祉、リハビリを連携させ、高齢者の健康増進、生きがいの創造から、将来的に高齢者の就労につなげることを目指して、H31年度からイチゴ栽培の取組を開始。
- イチゴ栽培を通して職員とともに入・通所者のリハビリを行う。収穫したイチゴは施設で提供。また、販売に向け、イチゴジャムの試作を実施。
- 取組の効果を身体機能、認知機能に応じて作業療法士が検証。

活動成果

- 施設入居者に生活意欲や生活の質の向上が見られ、デイサービス利用者には立ち上がり機能などの身体機能の維持、生活の質の向上が見られた。
- 新型コロナにより、外出や楽しみが減る中、活動を楽しみとし、活動に対して前向きな方が多くいた。

個人部門

やまもと みなこ
山本 美奈子 氏

地域資源を活かした世界初の“地熱珈琲”



山本 美奈子 氏:ドリップの様子



「わいた温泉」の湯けむりをイメージしたロゴマークと商品パッケージ

取組概要

- 一目惚れした杖立温泉で暮らすため、地域おこし協力隊として移住し、珈琲焙煎に地域資源の地熱蒸気を活用した、「雑味・えぐみ・苦みのない、すっきりとした味わいのコーヒー」を掲げる「地熱珈琲」を商品化。(商標登録申請中)
- 「わいた温泉郷」の使われていない地熱乾燥小屋の一角を改修し、土日限定の焙煎所をオープン。
- 「ここにわざわざ行かないと手に入らない」地域のキラコンテンツを目指し、人を惹き付けるブランド力を高め、流動人口を増やし地域活性化に繋げていく。

活動成果

- 過疎地域の入り組んだ場所にあるにもかかわらず、「検索してわざわざ来るコーヒー店」として1日20～30組が来客。
- 世界初の焙煎技法に地域資源を掛け合わせた点と、元地域おこし協力隊が交流拠点づくりに取り組むという点が注目を集め、オープン2ヶ月で地元新聞、TV、雑誌等10社から取材を受ける。
- 同地域の「障がい者サポートセンター」へ、生豆選別の作業依頼を行い、障がい者の雇用機会の創出と協働を図る。

山本 美奈子 氏

熊本県阿蘇郡小国町下城4163-2 Tel : 080-4285-7730